

暴力に一人で悩んでいませんか？

男女が出会い、恋をする。たくさんさんの夢を語り合い、将来の家族像に希望を膨らませ、結婚する。やがて、子どもを授かり、描いていた未来予想図に近づいた、はずだったのに……。

身近に起きている

DVの実情

配偶者間・パートナー間の暴力をドメスティック・バイオレンス(DV)と言います。結婚しているかどうかは問いません。

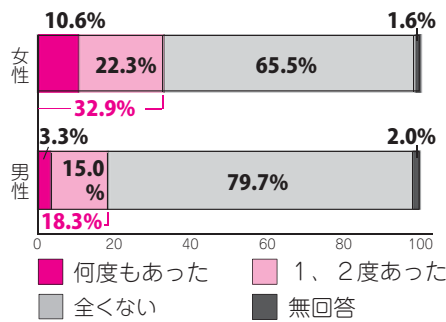
下の表を見てください。DVは身近な問題となっています。女性の3人に1人は配偶者から暴力を受けたことがあり、10人に1人は何度も受けています(表1)。

また、児童虐待も増加し(表2)、その主な虐待者は実の父母です(表3)。

このことには、DVが大きく関係していると言われています。あなたは、DVを受けていませんか？

表1. 配偶者からの被害体験の有無

(回答: 女性 1,403 人、男性 1,195 人)



参考: 「男女間における暴力に関する調査」内閣府(平成24年4月現在)

表2. 児童虐待相談件数の年次推移

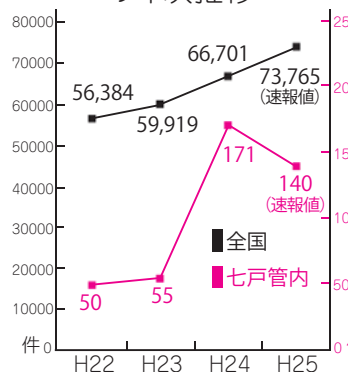
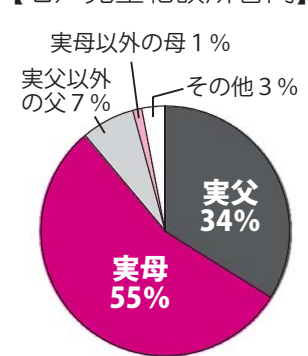


表3. 主な虐待者【七戸児童相談所管内】



参考: 「児童相談 2013」青森県(平成25年11月現在)ほか
※七戸児童相談所管内は、十和田市、三沢市、上北郡(おいらせ町を除く)

暴力には

いろいろな形があります

例えばこんなこと

- ▼ 身体的暴力
- ▼ 殴る・蹴る
- ▼ 精神的暴力
- ▼ 人格を否定するような暴言
- ▼ 脅迫
- ▼ 性的暴力
- ▼ 性的な行為を強要する
- ▼ 経済的暴力
- ▼ 生活費を渡さない
- ▼ 子どもを巻き込んだ暴力
- ▼ 子どもに暴力を見せる
- ▼ 子どもを危険な目に合わせる
- ▼ 子どもを奪つ
- ▼ 自分の言いたいことを子どもに無理に言わせる・強要する
- ▼ 子どもに暴力を振るつと脅す

これらは全て暴力です

一歩前へ踏み出す勇気を

黙って耐えることは理不尽なことです。今、あなたが我慢をすることであなたの子どもが、殴る人間、殴られる人間に成長してしまつ可能性もあります。勇気をもって相談してみれば、差し伸べる手は必ずあるのです。

もし、あなたが被害を受けていたら、一刻も早く、自分の置かれている状況を素直に話せる人を探してください。暴力の連鎖を断ち切り、自分が自分らしく生きていくためにどうすればよいのか、しっかり考えましょう。

さあ、顔を上げて、こわばった体と心をちょっと緩めて、周りをよく見てください。あなただけが我慢することはないのですよ。

十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員会によるコーナーです

「ゆっパル」の由来
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

困っている事があったら
いちど相談してみませんか？

相談窓口

- ▼ DV相談ナビ
☎ 0570・0・552110
- ※内閣府男女共同参画局提供の最寄の相談窓口を紹介、転送するサービスです。
- ▼ 十和田市役所福祉課「婦人相談室」
☎ 06716
- ▼ 青森県女性相談所
☎ 017・781・2000
- ▼ 県警察本部子ども女性保護対策室
☎ 017・723・4211
- ▼ 青森県男女共同参画センター
☎ 017・732・1022
- ▼ 上北地方健康福祉子どもセンター
☎ 0176・62・2145
- ▼ 女性の人権ホットライン
(青森地方事務局)
☎ 0570・070・810

DVに関する通報、緊急相談

▼ DVホットライン
☎ 0120・877・3081

▼ 十和田警察署
☎ 033195

緊急時は迷わず110番

11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



ホッとな一句
暴力へ
許さぬ神と
世間の眼
奈生美



『ゆっパル大賞』に応募しよう！

地域の少年スポーツのコーチをしています。地域貢献として休暇をもらえます。

残業は規則で週に3日まで！夕飯は妻と交代で作ってます。

勤続3年ごとにリフレッシュ休暇があります。前は自分のために使ったけど、今度は親と一緒に旅行しようかな。

毎週金曜日おやつを囲んで会議をしています。和やかな雰囲気になります。

忘年会など会社の宴会に子どもを連れて行ってもいいんです。参加しやすくなりました。

職員全員が家族のバースデー休暇をとれます。誕生会の準備もバッチリ！

「自分らしい働き方」が実現できる職場大募集！！

『ゆっパル大賞』とは？

『ゆっパル大賞』とは、「仕事と生活の調和の推進のために取り組んでいる職場」を皆さんに紹介する企画です。ゆっパル編集委員会が審査し、選ばれた職場をゆっばる第29号(広報とわだ3月号)で発表します。応募用紙は、市ホームページからダウンロードできます。締め切りは12月26日(金)。「我が社ならではの！」職場の取り組みをお待ちしています！

★編集後記

夫婦・親子間の暴力…掲示ポスターなどで見えています。何よりも恐ろしいものですね。完全消去がないかと思う今日この頃です。(K)
最近「？」と思った『カジハラ』騒動。言葉は正しく理解しようと改めて感じました。興味のある方は検索してみてください。(N)
重いテーマだったけど、皆さま、前向きに生きていきましょう。(F)

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員 木村奈生美、中野渡明美、深谷淳子
イラスト 中野渡 明美
発行 総務課広報男女参画係 ☎ 06702